

第64回 仏教公開講座

生きるって ということ

真宗大谷派岐阜教区・岐阜別院

日 時	2009年10月20日（火）午後6時30分～8時30分	
講 師	伊 藤 元 氏（日豊教区・徳蓮寺前住職）	
講 題	『人間に与えられている自由』	
日 程	午後6時30分	真宗宗歌・正信偈（同朋奉讃式）
	6時45分	講 義
	8時15分	質問の時間
	8時30分	恩徳讃・閉会



講師紹介

伊 藤 元（いとう げん）

1935年北九州市生まれ。1958年大谷大学文学部卒業。同年徳蓮寺住職に就任。

2001年に住職を退任された現在も大谷派の教師修練の指導、中央育成員研修会の講師などを担当されている。

先生からのメッセージ

仏法は、生きるについての真実を明かす教えであります。どういう生き方をしていようと、この一点を踏まえたならば、人間として生きたことになるという教えです。

この世間を雑会という言葉で言い表されています。私たちの思いを超えて、様々な縁をいただくところという意味です。つまり、この身に何が起こってきても不思議ではないということでしょう。そういう中で、自分を捨てなくて、豊かな心で生きるためには、どういう準備をすればよいのでしょうか。何を目安に生きればよいのでしょうか。

いつでも・どこからでも聞ける「テレホン法話」お電話ください。TEL058-265-0033